

4月29日(月)

誰が戻つて来た?

聖書朗読 ルカ 15:11~24

この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのが見つかったのだから。
ルカ 15:24

今日の力

2013年4月29日～5月5日

翻訳 伊藤若菜

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

私たちの娘が野良猫を玄関先で見つけました。彼女は誰の許可なしに餌を与え、必然の運命が起きました。野良猫は我が家で飼われることになったのです。野良猫のオールドトムはすぐに我が家に慣れ、グレーのフワフワな体やゴロゴロと鳴らす彼の姿は、私たちの生活の大切な一部となりました。しかし、彼は路上生活を諦めてはいませんでした。数週間姿をくらまし、私たちはもう彼は帰つて来ないのだろうと思った頃には汚れて、傷付いた姿になって戻つてくるのです。

放蕩息子と私たちの殆どは、少しオールドトムのような部分を持っているのではないかでしょうか? 快適な神様の家族の一員であることを楽しんでいる間、私たちの独立したいという本質が、トラブルを起こし、精神的に、また時には肉体的にも傷つく結果を起こすのです。

何度オールドトムが好奇心を持って出て行つてしまつても、誰かが「見て! トムが帰つてきたよ!」と叫んだ時は大変喜ばしい日だったのです。その日、トムにはミルクが与えられました。そして、トムをこんなに甘く扱つてしまつてよいのかと考える一方、トムには温かいお風呂が用意されたのです。

聖書の譬えに即して言うならば、この時「兄息子」は、「やれやれ、誰が帰つてきたのか思つたら、お前か」と、放蕩息子を冷たく軽蔑した態度で迎えたのです。しかし、彼の父は放蕩息子に駆け寄り、抱き締めました! 神様は私たちがさまようたびに、謙虚にされた私たちが戻つてくることを熱望していらっしゃいます。

聖歌 268

祈り 神様。罪多い私たちです。私たちは愚かにも、あなたの慈愛からさまよつてしまつことがあります。あなたの愚かな子どもが家に戻つて来た時に歓迎する十分な愛と、私たちに目的とあなたの御国への力を与えてくださったことに感謝します。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

マンデリン・ピーターソン
ネブラスカ州 ヘースティング

4月30日(火)

あなたの批評に感謝しなさい

聖書朗読 ルカ 23:32~43

ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。
Iペテロ 2:23

批評よ、ようこそ！私たちにはそれが必要で、批評によって、恵みを受けています。ですから、批評に感謝しなさい！私たちは間違えることもありますし、他の人たちに影響することに気づかず何かをしてしまうこともあります。だから、批評は私たちにとって気づかせるきっかけになるのです。定評のあるダビデ王さえも『だれが自分の数々のあやまちを悟ることができましょう。』(詩篇 19:12)と述べています。ダビデ王も批判を歓迎していたのです。『正しい者が愛情をもって私を打ち、私を責めますように。それは頭にそそがれる油です。』(詩篇 141:5)。

もちろん、ためにならない批判もあります。それは、意地悪で、不親切で邪魔になります。イエス様を思い出してください。イエス様は侮辱を受けられました。『ナザレから何の良いものが出るだろう。』(ヨハネ 1:46)。イエス様は蔑されました。『あれはヨセフの子で、われわれはその父も母も知っている、そのイエスではないか』(ヨハネ 6:42)。

イエス様が十字架に架けられた時、『道を行く人々は、頭をふりながらイエスをののしり』ました(マタイ 27:39)。イエス様ですらこう祈られました。『父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。』(ルカ 23:34)。良い意味を持つ批判に耳を傾け、それを受け入れなさい。あなたを不公平に批判する人たちのために祈りなさい。

讃美歌 第二編 185

祈り 私たちの愛ある、そして赦してくださいのお父様。あなたの愛する御子を私たちの罪からの救いのために送っていただき、あなたの愛と赦しのお手本を見せてください、ありがとうございます。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ビル・ジミネズ

カリフォルニア州 サンフランシスコ

5月1日(水)

どうやって神様と結びつけますか？

聖書朗読 ヨハネ 6:25~29

すると彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行うために、何をすべきでしょうか。」イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」
ヨハネ 6:28~29

上ののみことばの中で、人々が神さまをどのように考えているのか、そのよくある二つのパターンを見ることができます。一つ目のパターンは、人々は神様を何でも出来るベルボーイのように扱うというパターンです。このように考える人々は、神様に私たちの「欲しいものリスト」を見て頂いて、「よし、わかったよ」と言ってほしいと思っています。イエス様は群衆がイエス様ご自身を求めているのではなく、奇跡による無料の食事を求めていることに瞬時にお気づきになりました(26節)。人々が神様を自身のわがままな理由で使うことを、イエス様はお許しにませんでした。

二つ目のパターンは、人間が神様に対して何かをし、その結果神さまから何かが与えられる、というように、神様を契約の相手と限定して捉える見方です。群衆が『神のわざを行うために、何をすべきでしょうか』(26節)とイエス様に聞かれた時、このような見方が背後にあったと考えることもできます。もし彼らが「必要条件」を満たしていたのならば、彼らは神様が自分たちに祝福を与え、不幸を避ける義務があると考えていました。しかしながら、イエス様は彼らの「やることチェックリスト」はお認めになりませんでした。神様に対してこのような契約的な義務はないのです。

イエス様は、人が神様をどのような方としてとらえるべきか、上記の二つのパターンとは違う、第三の在り方を示してくださいました。それは、神様を信すべきものとして受け入れる、ということです。ただそれだけです。イエス様を信じることです。これは、イエス様に関する事実だけを信じるのではなく、人生でどんな状況下に置かれようともイエス様を信じるということです。私たちはイエス様が、私たちが必要なもの全てを提供してくださること、聖句に書かれている全ての約束を守ってくださること、イエス様が私たちを信仰に身を捧げた人になれるように、私たちがご自身の命令に従順に従えるよう力づけてくださったことを信じます。

讃美歌 270

祈り 父なる神よ。私は今日という日を私の全ての状況と、あなたの御心を信じます。イエス様を忠実で満たされた全ての約束にしてくださったことに感謝します。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ビージー・ニーマン

コロラド州 ニューキャッスル

5月2日(木)

眼鏡と本当に見ること

聖書朗読 ヨハネ 6:30~40

そこで、イエスは言われた。「わたしはさばきのためにこの世に来ました。それは、目が見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです。」

ヨハネ 9:39

もしもあなたが眼鏡を探していた時、鏡を見たら探していた眼鏡が頭の上にあったという経験があるなら、きっとこの話に感謝するでしょう。イエスは男の子の小さなお弁当から、五千人もの人々に食べさせました。しかし、イエス様を試そうとする人々は、「しるし」を求め続けました。「もしもあなたがモーセのような預言者なら、あなたもモーセのように天からのパンを食べさせるべきだ」。

ちょうど頭上に眼鏡を載せたことを忘れて眼鏡はどこかと捜し回る時のように、イエス様を試そうとしていた人々も、まさかこんな身近なところに神の御子がおられるなどとは思わず、自分たちの基準に従って、神の御子を示す「しるし」を求めようとしていました。彼らは何を探していたのでしょうか。命の糧です。イエス様は命の糧で、天より送られたのであり、なんと、人々の只中におられたのです！

彼らがこの明白な真理を見落とすことの一つの理由は、彼らはイエス様を単なる大工の息子として知っていると思ったからです。良く知られていることに気を取られ、頭の上にある眼鏡のように、救世主であられることを見逃してしまうのです。

私たちは、なぜ明白なことを見落とすのでしょうか？ 私たちも、何か明白なことを見落としてしまっている時はないでしょうか？ 複雑な神学的議論ばかりして、今助けを必要としている神の家族の兄弟姉妹が目の前にいるのに気づいていない、ということはありませんか？ 私たちの「与える愛」を必要としている人が目の前にいるにもかかわらず、私たちは「受ける愛」だけを求めようとしてしまうことはありませんか？ そんなことはない、とは言い切れないのではないでしょうか。

聖歌 195

祈り 創造者なる父よ。私たちの目を、貧しい人、子ども達、よそもの、私たちの隣人に目を向けたイエス様に向くように助けてください。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ティム・ケリー
カリフォルニア州 チコ

5月3日(金)

あなたの父親を選ぶ

聖書朗読 ヨハネ 8:42~47

こういうわけで、私はひざをかがめて、天上と地上で家族と呼ばれるすべてのものの名の元である父の前に祈ります。 エペソ 3:14~15

私は今まで何度「自分は自分の両親を選べないの！」と聞いたことでしょうか。私の若い反抗期の頃、限られた思考力しか持ち合わせてなかった時は、選択肢があったのなら！ と思いました。感謝すべきことに、年を重ね自分自身の浅はかさに気づかされ、私の父に対する尊敬と愛は完全にもっと大きなものとなりました。

宗教界の指導者たちに向かって、イエス様は単に系図から見て繋がっているアブラハムの子孫たちと、神様の本当の意味での子どもたちとを区別されました。アブラハムの子孫としての一族がいましたが、彼らの行動は神の本当の子どもとしてはふさわしくないものでした。彼らの本当の父なる神を知っていたのなら、彼らの行動は光に歩み、神と繋がっていることがその歩みからにじみ出るものとなつたはずです。頑固さ、偏見、プライドに満ちた歩みは、神の子どもであることを否定し、むしろサタンに従っていることを示してしまいます。

私たちの行動、考え、強さは最終的に、私たちと神との眞の関係を示すことになります。私たちの眞の父は、私たちが神に似るものとして歩み、神に従って生きる生き方を、私たちが選ぶことにより決まるのです。そうです、これは私たちがどのような生き方を選択するかにかかっているのです！

讃美歌 407

祈り 天なる父よ。私たちがあなたの方へ向くよう、またあなたの光の中で、私たちに与えられている無限の愛に気づかせてください。その愛をお互いに与えあえるようお助けください。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ランディ・ロバーツ
ニューメキシコ州 グラント

5月4日（土）

「単なる道徳の先生」ではない

聖書朗読 ヨハネ 8：48～59

イエスは彼らに言われた。こ「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から子、わたしあるのです。」すると彼らは石を取ってイエスに投げつけようとした。イエスは身を隠して、宮から出て行かれた。

ヨハネ 8：56

イエス様は日和見主義的などちつかずの態度を非難なさる方でした。イエス様を快く思っていない人々は、「自分のことを何者だと思っているんだ？」と主に尋ねていますが、イエス様は何度も大胆に『わたしと父とは一つです。』（ヨハネ 10：30）とお答えになっています。何人かはそれを受け入れ、従いました。しかし、他の人々はイエス様を殺してしまおうと思いました。こんにち、イエス様を神と信じない人々は、（イエス様の時代と比べたら）やや穏やかな言い方ですが、「イエスは釈迦や孔子のような、良き道徳的な先生でした。」と言って神はと認めません。

しかし、C. S. ルイス（という神学者であり作家）は、このような人間の勝手な理解を、次のように厳しく指摘しています。「（歴史上の）偉大な道徳教師たちの中で、キリストが発言したように（自分が神の御子であるということを）言った人はいないのです。・・・そのようなことを恐れずに言えるのは、本当に自分が神であるか、もしくは完全に正気を失ってしまった人であるか、そのどちらかです。仮にもあなたが自分のことを（人間ではなく）「私は落とし卵である」などと思い込んで、自分と良く合いそうなトーストを搜したとしても、まだあなたは正気だと言えるかもしれません。しかし、自分が神だと思うようでは、もうまったく見込みはありません。・・・イエス様が地上生涯を送っていた時に、人々がイエス様を単なる道徳の教師だと考えたことは一度もありませんでした。主に出会った人々は、そのような印象を受けなかったからです。イエス様を見て人々が抱いたものは、憎しみ、恐れ、賛美、この三つ（のうちどれか）であったのです。」

半分だけという中途半端なポジションはありません。イエス様はそれをお許しになりません。イエス様は神の子であるか、そうでないか、どちらか一つなのです。私たちにとっては、アブラハムより前にいらっしゃった唯一の方であり、肉体になった言葉であり、私たちの間に存在したのです。

讃美歌 121

祈り 神よ。私を洗礼により新しくし、聖霊と共に私の中に存在し、神を存により満たしたイエス様を敬意と敬愛することを教えてください。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ダリル・ティベンズ

カリフォルニア州 マリブ

5月5日（日）

泥棒と押込み強盗

聖書朗読 ヨハネ 10：7～10

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

ヨハネ 10：10

去年、私たち夫婦は5人目の孫に恵まれました！全員女の子です。祖父として、上の4人の子どもたちの送り迎えを担当しています。小学校3校、ダンスクラスが4か所、バンド練習が3か所、演劇練習、そして4-H（農務省を母体とする青少年育成事業。またそれに基づく各地の青少年団体）です。彼女たちのスケジュールはいっぱいです！

イエス様は私たちに生活の中に泥棒がいることを思い起こさせてくださいました。物、イベント、そして人々は時折、真の生活を作ろうとするものを盗もうとします。私たちの生活でとても大切なのは、私たちが盗まれる可能性がある危機感を持つことです。忙しいスケジュール、物欲、プレッシャー、そしてすべて持っていると騙す人間関係は実に真の生活から盗んでいるのです。

私たち一人ひとりのドアに、それぞれ押込み強盗がいるのです。イエス様のみが私たちに信仰、希望、平和、喜び、愛、そして永遠の命に本当に富んだ人生を与えることがお出来になるのです！

あなたは神のみを見つけられるのです・・・

まさに彼の名前は「今」

「わたしはあってあるもの」そして「わたしはわたしだ」

ジョージ・F・マクレード

讃美歌 517

祈り 愛する天の父よ。あなたが与えてくださった現在と永遠の真の生活から盗まれないように守ってください。永遠の命を与えてくださった唯一のお名前を通してお祈りいたします。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ